

資 料 提 供	
令和7年10月8日	
課 名	県民活動課
担当者	佐伯
内 線	2739
直通電話	082-513-2723

北方領土をつなぐ船「えとぴりか」一般公開のお知らせ

標記の件につきまして、別紙のとおり独立行政法人北方領土問題対策協会から情報提供がありましたので、お知らせします。

令和7年10月8日
(広島県政記者クラブ)

報道各社様

独立行政法人北方領土問題対策協会

北方領土をつなぐ船「えとぴりか」一般公開の開催について

標記一般公開を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 趣旨	北方四島交流等事業使用船舶「えとぴりか」を、北方四島交流等事業だけではなく、啓発事業に利活用することで、北方四島交流等事業や北方領土問題に対する理解・関心を広げることを目的に開催します。
2. 主催	独立行政法人北方領土問題対策協会
3. 日時・場所	日時：令和7年10月 18日（土） 10：00～17：00 19日（日） 10：00～17：00 ※最終受付はいずれの日も終了30分前になります。 場所：宇品外貿埠頭第5バース（広島市南区宇品海岸3）
4. 内容	岸壁停泊中の船内見学（船内見学順路に北方領土写真パネルの展示やスタンプラリー等の参加型イベントを実施いたします。詳細は別添チラシをご覧ください。）
5. 対象	どなたでも参加可（参加費用・事前登録なし）
6. 取材を希望する場合について	- 取材に当たっての事前登録は不要ですが、乗船の際、船内順路の順守へのご協力をお願いいたします。 - ご本人確認のため、受付時に写真付きの記者証その他の記者の身分を証明できるものをご提示ください。また、取材中は自社腕章等を必ず着用し、係員の指示に従ってください。 - 取材可能時間は上記「3.」時間内（最終受付まで）となります。 - 船内順路内のみ取材可能です（船内順路内以外での撮影及び立入りはしないでください。）。また、船内等での来場者への個別取材を希望される場合は、来場者本人の了解のもと行ってください。
7. 問合せ先	独立行政法人北方領土問題対策協会 業務グループ交流担当 電話番号：03-3843-3630 担当者名：森崎、山崎、齋藤、大宮

※荒天の場合、中止とさせていただく場合がございます。

以上

一般
公開

北方領土をつなぐ船

「えとぴりか」 in HIROSHIMA

北方領土パネルで学ぼう

船長になって記念撮影

北方領土元島民後継者
によるミニ語り部

スタンプラリー

船内見学

入場
無料

最新情報はこちら

北方領土エリカちゃん
公式アカウント



乗って、見て、四島つなぐ船「えとぴりか」

「えとぴりか」は、
北方四島との交流や
お墓参りに使用され
ている船です。

令和7年

10/18(土) 10/19(日)

10:00～17:00

16:30 受付終了

10:00～15:00

14:30 受付終了

※小雨決行（荒天の場合、中止とさせていただきます。）

主催

独立行政法人
北方領土問題対策協会

会場

広島港：宇品外貿埠頭第5バース
(広島市南区宇品海岸 3)
広島電鉄・海岸通電停から徒歩約 15 分
※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください



北方四島交流等事業使用船舶「えとぴりか」とは

独立行政法人北方領土問題対策協会

船舶「えとぴりか」は、国の「四島交流等の実施及び後継船舶の確保に関する方針」に従って建造され、平成24年度から供用が開始されました。

北方領土の問題を平和的に解決するためには、日本人と北方領土に住むロシア人がお互いに理解し合うことが大切だということから、日本とロシア政府で合意して、旅券（パスポート）・査証（ビザ）なしで相互を訪問する「ビザなし交流」や元島民とその家族が故郷を訪れる「自由訪問」が行われています。

「えとぴりか」は、この事業に使用される船舶であり、主に北海道根室市と北方四島を行き来する旅客船です。



船名の「えとぴりか」は全国の皆さんからの公募で決まりました。北方四島と北海道本島を自由に行き来する海鳥「エトピリカ」の姿が交流等事業のイメージと重なることから名づけられました。



北方領土イメージキャラクター
エリカちゃん(右)・エリオくん(左)

船名	えとぴりか
総トン数	1,124トン
全長	66.51m
旅客定員	84名
航海速力	15ノット
所有者	(株)マリン・アドベンチャー